



“小諸の玄関口となり、市民も来訪者も集える場所へ”

この施設は、小諸の日常と来訪者たちの非日常が混ざり合い、新たな物語が綴られる場所を目指して「NOVELS」(ノベルズ)と名付けられました。

施設名は「小説(ノベル)」と「述べる」の2つの意味をかけています。小諸市民や来訪者たちがNOVELSで出会うことでそれぞれの物語が交差するという一つの願い、また市民自らが小諸のことを語り、来訪者や移住者と一緒の小諸についてみんなで「述べる」場になってほしいという二つの願いが込められています。

NOVELSは小諸市民の日常でありつつ、来訪者にとっては特別な場所になってほしいとの思いから、宿泊の機能以外にも半パブリックな場所として「中古書店」「カフェ・バー」が備わっています。こちらは、宿泊客以外の市民も気軽に立ち寄り、ゆっくりとくつろぐことが可能です。

また、NOVELSは小諸市から移住・移住起業支援コーディネーター業務を受託しており、専門スタッフが小諸の超ローカル案内人として、自身が作成したオリジナル小諸マップをもとに来訪者にディープな小諸の情報を伝えていきます。

初めて小諸に来た方や移住希望者が「小諸って見るところがそんなに無いね」と言ってしまうのはとても寂しいので、「小諸には実はこんな面白いところがあるよ」と、初めて小諸に来た方でも入りやすいお店から、ちょっと勇気があるところまで、新旧問わず小諸の魅力的なお店や見どころをスタッフが紹介しています。

物語が広がる NOVELS の役割

長年空きビルになっていた相生区の旧竹澤書店が、中古書店・カフェ・バーを兼ね備えた宿泊施設として改装され、9月にグランドオープンしました。

相生町商店街の中心に位置する旧竹澤書店ビルは、築年数が50年以上で雨漏りや耐震面など様々な不安要素があり、借り手がなかなか見つからない状況でした。

令和4年度から小諸市の地域おこし協力隊として勤務している岡山千紗さんは、着任当時、ビルの借り手となる事業者を探していたところ、自身がこのビルの複雑な構造に惹かれ、協力隊OBの堺大紀さんとビルの活用方法を考えた事をきっかけとして、旧竹澤書店(空きビル)を活用した地域活性化プロジェクトが開始しました。

プロジェクトが動き始めると、旧竹澤書店ビルをはじめ、相生町商店街のビルの多くが築50年程度であり、建物は複数のオーナーが所有する区分所有の場合も多く、ビル全体の活用や補強工事が困難である状況だと分かりました。しかし小諸市の活性化を願う岡山さんと堺さんの想いは強く、何とかして旧竹澤書店ビルをまちなかの再生モデルにすることを決意し、ビルの所有者である株式会社スマイル小諸の協力を得て、ビルをワンオーナーにすることで事業実施のスタートラインに立つことができました。

また、官民連携で遊休不動産を活用し、関係人口創出のための拠点を整備する事業内容が高く評価されたことから、国の補助事業である地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト)の採択を受け事業を実施し、この計画が実現しました。

Information

■住所 小諸市相生町 2-1-3

詳細情報▶

代表の堺大紀さんに聞きました 「NOVELSのこれから」

9月にグランドオープンしたばかりですが、小上がりのある絵本スペースに子連れで立ち寄ってくれる家族や、高校生が下校時に顔を見せてくれたり、移住したいご夫婦が訪ねてくれたり、仕事帰りにワインを片手に本を読んだり様々なシーンで立ち寄ってもらえる場になりました。

9月から本格稼働しているホテルには、すでに近隣市町村の方や県外の方が宿泊し、1階のバーで出会った小諸の人と意気投合して、次の日に小諸の人がまち案内したりと、小さいながらもまちの拠点として動き始めています。

今後、小諸の人、観光で来た人、移住したい人も含めて、「とりあえず、NOVELSに行けばいい」と言っていただけのような小諸の入口として、また人や情報の集まる場になれたらと考えています。まだまだ稼働したばかりのNOVELSですが、まちの風景になれるように少しずつ育てていければと思っています。

これからは、イベントやワークショップを企画し、訪れる人たちが小諸の魅力を発見できる場として機能していけるよう努めていきます。また、NOVELSを訪れた方が旅の途中でも地元の人々と触れ合い、互いの経験やストーリーを共有することで、新しいアイデアやつながりが生まれる「交差点」としての役割も果たしていきたいと考えています。

これからも皆さんに愛され、育てていただける場所を目指し、進化し続けていきます。



NOVELSのスタッフの皆さん

【内訳】地域経済循環創造事業交付金 (ローカル10,000プロジェクト)

	事業者	金融機関	国	市
全体事業費	71,673千円			
内訳	16,673千円	30,000千円	25,000千円	
ローカル10,000 ※補助率 1/2			12,500千円	12,500千円

